



# とらいあんぐる



2018 年 1 0 月

一音会ミュージックスクール発行

## 「グループ作り」

今回、ちょっと新しい試みをしてみたいと思います。

いつも、このエッセイのテーマは、私の気のむくまま、その時、思っていることや、皆さまにきいていただきたいことを、書いています。

ですが今回は、息子が『とらいあんぐる』に書いて！」ということ、そのまま書いてみたいと思います。

ただ、息子にいわれたから書く、というわけでもありません。

息子の話をきいて、そういえばそういうことがあったなあと、私にとっても思いあたるものがたくさんあったからです。

実は、誰よりも、私むきのテーマなのですが、おとなになってから年数が経ちすぎた私は、すっかり忘れていました。息子のおかげで、せっかく忘れていた記憶を、わざわざ掘り返すことになりました。

息子のユメキは、高校 2 年生になります。

口数が多いタイプなので、学校でお

ころいろいろなことを話してくれます。

たいていは、グチです。

きくのが私の仕事ですので、いつも黙ってききます。

今回の息子の主張は、こうです。

グループを作るとき、「好きなもの同士、組みなさい」というのをやめてほしい！

なるほど・・・。

体育で2人組になる時。係の活動をする時。遠足の班を作る時。

思えば、案外、学校は、グループを作る場面が多いものです。

先生は、いとも簡単にいいます。

「好きなもの同士、組みなさい」



先生からすれば、グループの作り方として、生徒から一番、不満が出ない方法ということで、採用しているのだと思います。

「あの子と同じグループはイヤだ」といった文句も出ないし、グループで活動する時も、仲良し同士ならトラブルもおこりにくいだろう、という計算も透けて見えます。

息子は強く主張します。

このグループが、人数自由なら良い。2人もアリ。10人もアリ。それなら良い。

だけど実際には、4人なら4人と、決まっている。それが大問題だ！

ということなのです。

例えば、いつもの仲良しグループが5人のグループだったとしましょう。

4人グループを作る際、「誰を切り捨てるか？」という、判断にせまられることになるのです。

よく考えると、おそろしい判断です。

5人で仲良くしていたときには生じ

ない思考が働きます。

このグループで末席は誰？

いなくても問題ない子は？

このグループで、もっとも貢献の低い子は？

そんなどす黒い思いがうずまきます。

そこでは、AちゃんとBちゃん、どちらをグループに残すか、といった、お友だちの“格付け”もおこなわれます。

お友だちを天秤にかけることなど、到底、許されることではないのに！

そんなグループ作りさえなければ、そんなことは考えずにすんだのに！

息子は内弁慶で、外で器用に立ち振る舞える人間ではないので、ずいぶんイヤな思いもしてきたのだろうと、気の毒に思います。

私自身も、小学校、中学校、高校と、すべての時代で人づきあいに苦労し、すべての時代で友だちが少なかったの、よく分かります。おそらく息子は私と同類なのでしょう。

私の過去の引き出しをあけてみれば、その種のエピソードで満載です。

普段の体育の授業。

「ハイ、仲良しのお友だちと2人組みになってね」

先生は、あたりまえのように、いつものセリフをいいます。

体育そのものにもハンデがある私は、いつも一人、取り残され、みじめな思いをします。

遠足の班決めの際。

どう考えても、人数的にいつも入れてもらっているグループから、誰かが抜けなくちゃいけないことに、いはやく気づいてしまいます。

私は、「アッコが抜けて」といわれることをおそれるあまり、「いいよ、私が他の班に行くよ！」と、はやばやと宣言してしまいます。

みんなは、あきらかにほっとした顔を、形だけ「ゴメンネ」といいます。

誰もひきとめてくれません。もちろん、行くあてもありません。

行き先探しには、さらにみじめな思いをすることになります。それでも、いつものグループのお友だちから、「戦力外」を通告されるより、ずっとマシなのです。

なぜ「好きなもの同士」なんていうんだらう？

これこそが、無用な火種を作っているのではないか？

これは要するに、先生が、自分がうらまれたくないために採用している方法なのではないか？

考えれば考えるほど、腹が立ってきます。教師への憎しみさえ、つのってきます。

話は飛ぶようですが、アメリカでおこなわれた社会心理学の研究でこんな話があります。

大学入学後、形成された友人関係のネットワークを追跡した調査です。

大学は、いろいろな地域から、面識のない学生が集まるところです。彼らが、どんなふうに仲の良い友人を作っ

ていくか、調べたのです。

結果は、拍子抜けするほど、単純な仕組みでした。

学生寮の部屋の位置が近いほど、親密な関係を築く傾向があったのです。

ちなみに学生寮は、申し込み順に、はじっこの部屋からうめていっただけの、完全に機械的な割り当てでした。出身地も専攻も性格も関係なし、です。

加えて、学生本人は、「寮の部屋が近い人と親しくなる」という法則性に気がついていませんでした。結果的にそうなっていたのです。

人は案外、たまたま一緒になった人と親しくなる、ということです。



話をもどします。

私は、グループを作るなら、クジびきでも、出席番号でも、先生主導で機械的に分けてしまった方が良いと思っています。

普段交流のない子同士が同じグループになれば、お互いを理解するきっかけになり、お友だちを増やすことにもつながると思うのです。

「つきあってみたらつきあいやすい人だった」、「やり取りしてはじめて相手を理解した」といったことは、誰もが経験したことのある、人間関係でお決まりのパターンです。

私の嫌いな言葉に、「スクールカースト」という言葉があります。

「カースト」は、かつてインドで人民を苦しめた身分制の「カースト」のことです。

クラスの中で、上位の人間と下位の人間がいる、というイヤな考え方です。

脚光をあびるスター性のある生徒と、目立たず、影響力もない生徒。

グループのメンバーとして選ばれる

子と選ばれない子。

大事な子とそうでない子。

息子のいうように、グループ作りを繰り返すことが、友だちの“格付け”をうながし、クラス全体を覆う“カースト制”を成立させてしまうのでしょうか。

学校やクラスという閉じた社会の中で、その上下関係がもたらす害悪は、おとなが想像する以上に、過酷なものだと私は思います。

息子にかわって、私が主張します。

「好きなもの同士で組め」というのは、やめてほしいです。

(江口 彩子)



## ◆ 「音楽の集い」を開きます

すでに教室内ポスターなどでお知らせしていますが、11月4日（日）に、「音楽の集い」を開きます。「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。

多くの方にお申し込みをいただきました。どうもありがとうございました。当日が待ち遠しいです。

「音楽の集い」は今年、20周年をむかえます。一音会はどちらかというと、“子どものための音楽教室”というイメージがありますが、音楽を愛するおとなの方々に長く守られてきた教室でもあります。これまで「音楽の集い」と縁がなかった方も、ぜひこの機会に、聴きにいらしてください。一音会の別の側面に、きっと驚かれるでしょう。入場無料です。

歌あり、ピアノあり、曲もクラシックにとどまらず、自由に楽しい会です。桑原先生による、講師演奏も予定しています。

また、ささやかなお菓子と飲み物をご用意しています。お時間のゆるす方は、おしゃべりを楽しんでいってください。お茶を飲みながら、おとな同士、楽しく交流しましょう。

- ★ 日時 : 11月4日（日）
- ★ 開場 : 12:30
- ★ 開演 : 13:00
- ★ 場所 : ひびきホール

### ひびきホール

東長崎駅 南口より徒歩7分

「まいばすけっと」のビル 3階



## ◆客員教授ダイアン・アンデルセン先生が来日します

一音会の客員教授であり、世界的に著名な演奏家であるダイアン・アンデルセン先生が、11月に来日します。

プライベートレッスンと、コンサートを予定しています。

レッスン : 11月21日(水)・24日(土)  
コンサート : 11月23日(祝)

レッスンは、五線読譜が完成した生徒さんなら、どなたでも受けることができます。決して、大きな生徒さんや特に上手な生徒さんだけのためのものではありませんので、ぜひ担当の先生と相談して、ぜひ準備をすすめてください。貴重な経験になると思います。ご不明の点やお迷いの点がおありでしたら、お気軽に本部にご相談ください【本部：03-5966-7711(担当・谷口)】。

30分レッスン……レッスン料(12,500円)＋通訳(2,500円)→15,000円

45分レッスン……レッスン料(18,750円)＋通訳(3,750円)→22,500円

60分レッスン……レッスン料(25,000円)＋通訳(5,000円)→30,000円

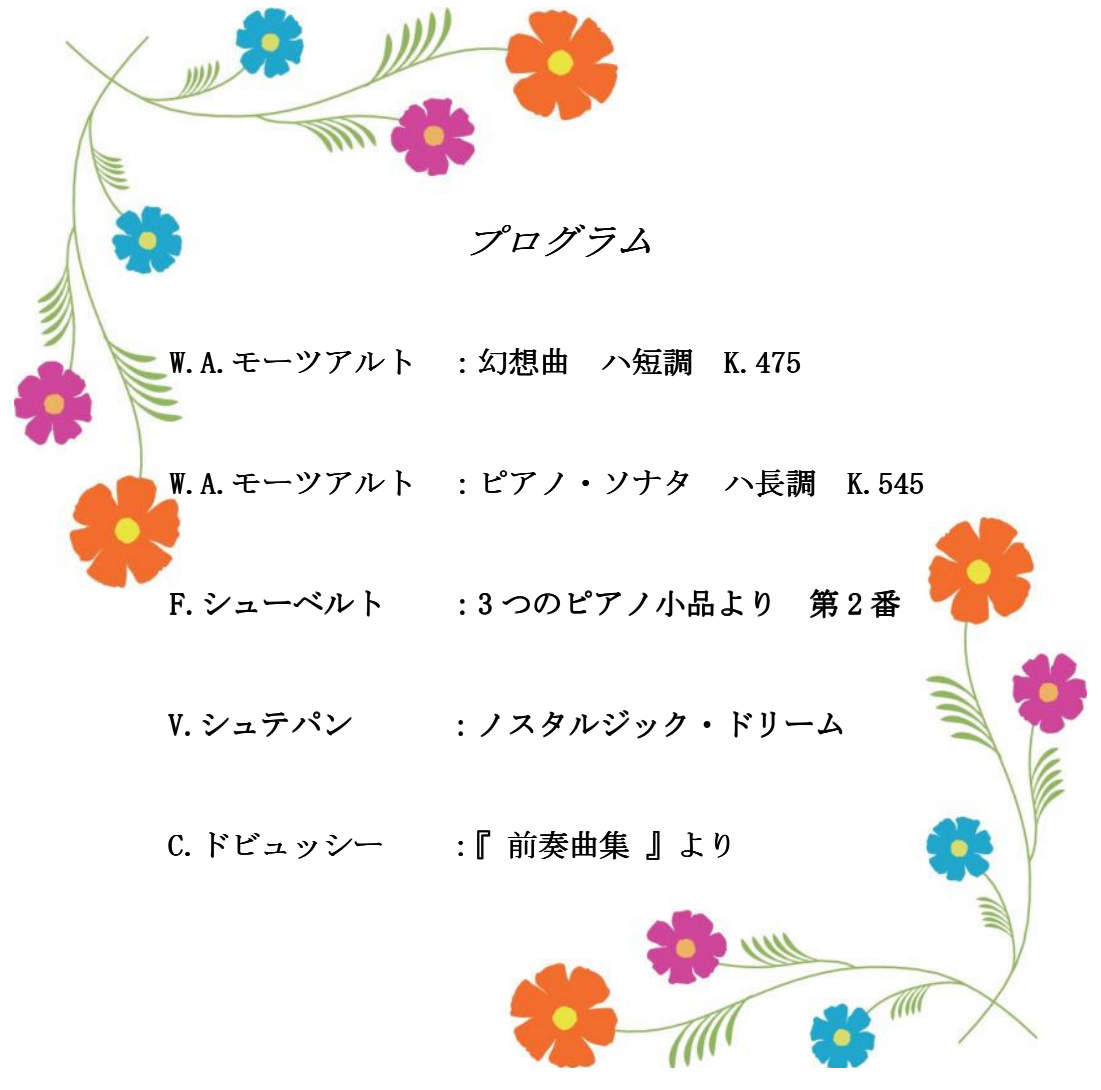
コンサートにつきましては、以下の通りです。11月23日は、レッスンもお休みの日ですので、ぜひ皆さま、ご都合をつけて聴きにいらしてください。



日時：11月23日(祝) 開場：17:00 開演：17:30



場所：ひびきホール



## プログラム

W. A. モーツァルト : 幻想曲 ハ短調 K. 475

W. A. モーツァルト : ピアノ・ソナタ ハ長調 K. 545

F. シューベルト : 3つのピアノ小品より 第2番

V. シュテパン : ノスタルジック・ドリーム

C. ドビュッシー : 『前奏曲集』より

チケットは、「ショパンはうす」受付で販売しています。お得な前売り券をお求めください。

中学生以上 2,000円(前売り) 2,500円(当日)

小学生以下 1,000円(前売り) 1,300円(当日)

(※ アンデルセン先生のレッスンをお受けになる生徒さんには、招待券をご家族人数分、プレゼントさせていただきます。ご購入にならないよう、ご注意ください。)



## ◆「ピアノ・トライ」のお申し込みについて

例年通り、2019年1月より、「ピアノ・トライ」をおこないます。

「ピアノ・トライ」は、エチュードやバッハの作品といった、基礎力やテクニックにごまかしがきかない曲を課題曲とし、普段のレッスンの先生ではない、ベテラン先生が、お一人お一人の弾き方や表現や練習に問題がないか拝見し、さらに上手になっていただくためのアドバイスをお出しするものです。

毎年、「ピアノ・トライ」を“もう1つの発表会”とし、上手に活用して、上手になっていらっしゃる生徒さんが、たくさんいらっしゃいます。この1年のおけいこの成果をチェックするのも、良い時期だと思います。ぜひ「ピアノ・トライ」をご活用ください。

「ピアノ・トライ」をお受けになった方の中で、すてきな演奏をされた方には、「ひびきホール」でおこなわれる演奏会「ル・コンセール」にご出演いただけます。

「ル・コンセール」は、1回目を2019年2月10日（日）に、2回目を3月3日（日）に予定しています。

### （1）電話申込み（申込み先 TEL 03-5966-7711）

12月5日（水）

12月8日（土）

※両日とも朝10:00～夕方16:00までの受付です。各日先着順とさせていただきます。

※例年、電話回線が混み合い、つながるまでに時間がかかる場合がございます。ご容赦ください。

### （2）日程（全て「バッハはうす」でおこないます）

- |   |           |       |          |         |
|---|-----------|-------|----------|---------|
| ① | 1月26日（土）  | 初級・中級 | （午後2グループ | 山本先生予定） |
| ② | 1月27日（日②） | 初級・中級 | （午後3グループ | 夏目先生予定） |

- ③ 2月3日(日) レッスンなし 中級 (午前2グループ 夏目先生予定)  
 " " 初級 (午後3グループ 能勢先生予定)
- ④ 2月11日(月・祝) 初級・中級 (午前2グループ 能勢先生予定)
- ⑤ 2月16日(土) 初級・中級 (午後4グループ 山本先生予定)
- ⑥ 2月17日(日①) 中級 (午後2グループ 夏目先生予定)

※ 進度は目安ですので、日程的なご都合を優先していただいで大丈夫です。

※ 進度の異なるごきょうだいを、同日の時間帯にお組みすることもできます。

### (3) 参加費

2160円

※参加費は、お月謝引落し時に加算させていただきます。当日、参加費をお持ちになる必要はありません。

### (4) 課題曲

以下の中から任意の1曲 **(昨年までと少し異なりますのでご注意ください)**

- ・バッハおよびバロック時代の作品
- ・エチュード
- ・ポリフォニー(多声音楽)の曲

ただし、絵音符の生徒さん、五線の曲に入ったばかりの生徒さんの曲目は自由です。

\*\*\*\*\*

\*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：[1000@ichionkai.co.jp](mailto:1000@ichionkai.co.jp) 電話：03-3954-9999

\*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

\*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。